トルドー首相が公式訪問

「日加経済協力大綱」に調印

▲文化協定の調印を祝う日加両首相

十月二十日から二十六日まで、トルドー首相がマーガレット夫人同伴で日本を公式訪問した。トルドー首相が来日するのは、一九七〇年の万博、一九七三年の非公式訪問に次いで、これで六度目。

今回の訪問の主な目的は、カナダが対日関係をいかに重視しているかを示すとともに、相互理解を一層深めることにあった。首相は、滞在中、天皇、皇后両陛下とお会いしたほか、三木総理、福田副総理兼経済企画庁長官、小坂外相、大平蔵相大石農相、河本通産相、および経済界の代表と会見し、両国間の経済的、政治的、文化的関係について話合った。

両国首脳の会談では、日加「経済協力大綱」が調印された。両国間の貿易の発展、経済協力の発展、合同委員会の設立の三つを柱とするこの「大綱」は、先にカナダが欧州共同体(EC)と結んだ「経済協力大綱協定」(契約的連結)と対をなすもの。これで、カナダ外交の基本である自主独立・多角化政策――「第三の選択」――の基礎が具体的に敷かれたといえよう。「大綱」は、カナダと日本の間の商業・資本交流の発展・円滑化を図り、二国間経済関係の相互理解を促進するという、両国政府の意思と意図を表明したもので、トルドー首相が「日加経済史上におけるこの新しい一章」と呼んだように、両国の経済関係をさらに発展させる跳躍台になるものと期待される。

「大綱」は、①可能な限り両国間の商業交流の進展と多様化を促進する②二国間貿易の拡大達成に努力する③供給および市場アクセス問題の緩和と需給形態の変動をできるだけ少なくする方法を検討する④経済協力の発展を推進する⑤合弁事業など両国産業間の協力、工業製品の開発とマーケティングにおける協力、農産物の生産と供給の一層の安定化――などを推進する⑥経済協力活動を推進、検討するため、合同委員会を設置する、などが骨子となっている。合同委員会の初会合は、来年カナダで開催されることが合意された。

両国間貿易、経済協力の発展のための指針を示したこの「大綱」に基いて、今後、民間相互の幅広い関係強化が望まれる。

両国首相は、この「大綱」とは別に、両国間の貿易が調和ある拡大を継続するよう希望を表明し、特に両国間貿易における石炭、非鉄金属、木材・木材製品、紙製品、穀類、油糧種子の重要性を確認した。また、原材料の加工度を高めて輸出するというカナダの政策について討議した結果、「この政策が互恵的な方法で実施されうることに意見の一致をみた。」

経済・貿易の分野では、特に大きな現状打開はなかったものの、工業化に対するカナダの意気込みが日本で評価され、またカナダのこうした方向が日本の産業政策と衝突するものではなく、むしろ相互に補完するものであるということが認められたのは、一応の成果といってよかろう。

迎賓館で歓迎を受けるトルドー首相とマーガレット夫人。(AP)

このほか、両首脳は、原子力の平和利用について一層の協力を探求することに合意し、また科学技術の分野でも協力の拡大に努力することに意見の一致をみた。

なお、トルドー首相は、経済五団体主催の昼食会における挨拶の中で、「カナダの資源輸出、投資受け入れに関する政策について危惧する向きがあると聞いているが、その心配は全く必要ない。資源輸出については、カナダ自身の予見しうる需要を考慮しつつ、その有するものを他国と分け合う政策をとっているし、カナダの国家的経済目標と願望に調和し、カナダの利益となる投資は今後も歓迎する」と述べている。

また、カナダと日本の関係を経済的つながりだけにとどめず、より幅広く、より深い基盤の上に発展させるという両国間の合意に沿って、トルドー首相の訪日を機に、小坂外相、ランキン駐日大使の間で文化協定が調印された。

両国の間では、すでに学術交流、スポーツ交流、留学生派遣、芸術交流、姉妹都市提携などが盛んであるが、文化協定が締結されたことにより、こうした交流が一層充実するものと期待される。協定は、①文化的、科学的活動に従事する者の交換および文化機関、教育機関、専門的機関相互の密接な協力を奨励し②それぞれお互いの国における修学、訓練、研究のための奨学金などの便宜を与えるよう努力する③大学などの教育機関でそれぞれの国に関する講義を創設、拡充することを奨励する④それぞれの国で得た学位や資格、証明などに関して、どういう範囲内で、またどういう条件下で同等の価値を認められるか、研究する⑤マスメディアや講演、演奏会などを通じて、それぞれの国の文化、歴史、諸制度、生活様式を理解するよう奨励する⑥それぞれの国の著作物の翻訳、出版を奨励する⑦新聞、雑誌、ラジオ、テレビ、映画の各分野での交流を容易にする⑧青少年(およびその団体)、スポーツマン(団体)の協力、交流を奨励する⑨両国間の観光旅行を奨励する――などが主な内容になっている。

トルドー首相は、また、カナダ政府がカナダ講座を寄贈した慶応大学から「名誉学位」を受けたほか、日本アイスホッケー連盟(堤義明会長)に「日加ホッケー友好杯」を贈呈した。